

JWTC

Japan Women in Travel Club

NEWSLETTER

広げよう！
人の輪 旅の輪



CONTENTS

- P1 会長の新春ご挨拶 / JATAxJWTC 第7回勉強会
- P2 特別勉強会「落語に親しむ」
勉強会ザ・プリンスギャラリーー東京紀尾井町見学 / リレーエッセイ
- P3 特別勉強会「英国はどこへゆくの？」
会員の会社&仕事紹介 (ウイングリゾート) / 第11回サンパウロ便り
- P4 ふるさと自慢 / 運営委員会からのお知らせ / 編集後記他

ご挨拶



JWTC 山科ほとり会長

日本旅行業女性の会

会長 山科ほとり

明けましておめでとうござい
ます。
昨年はリオ五輪での日本人
選手メダルラッシュという感動
的なシーンに彩られました。一
方、イギリスのEU離脱宣言や
トランプ氏のアメリカ大統領
選挙勝利など、予想外の出来
事も続き、歴史に残る年とな
りました。何が起きるか想定
しづらい時代です。私たちがも

常に身構え、ひらりと身をか
わしながら前へとジャンプして
いきましょ。う。
2017年も情報テクノロ
ジーはますます進化し、逆に
きめ細やかなヒアリングやア
レンジが私たちの存在価値を
高めるでしょう。女性のアン
テナを高くし、お客さまがご
自分では気づかない要望を引
き出し、期待を超える感動を

生み出したいものです。
そのためにも、視野を広げ、
さまざまな刺激を自分に与え
たいですね。JWTCの勉強会
は絶好の機会です。今年もさ
まざまなテーマで開催いたし
ます。
皆さまとともに勉強してまい
りたいと存じますので、本年も
どうぞよろしくお願ひ申し上げ
ます。
(山科ほとり)

JATAxJWTC 第7回合同勉強会

2016年11月8日(火)
参加者72名 (JATA18名, JWTC17名, ビジター37名)



株式会社ジェイアール東海ツアーズ
代表取締役社長 吉田 修氏講演

変化の激しい旅行業界で、
会社の繁栄と社員の幸福を
実現するためには、旧国鉄から
受け継いだ保守的な企業文化
を、お客様本位で社員の主体
的行動重視に変えなければ
と考え取り組んだ株式会社
JR東海ツアーズ取締役社長
吉田修氏の改革を大いに語っ
ていただきました。

JR東海ツアーズは1990年
にJR東海の駅旅行センターを
分離独立させて創業した。当時
は旧国鉄採用の男性出向社員が
大多数を占め、ルールはきちん
と守るが接客は不得手な社員も
いて、次第に指示待ちの保守的な
社風が形成されていった。
このままではいけないとの危
機感から、2010年に「お客様
に選択される高収益の旅行会社
+社員が自ら考え行動すること
」を旨とした経営理念を制定
し、人事賃金制度も成果給方式
に改めると意識改革の取組み
を始めたがうまくいかなかった。
2年後に、NHKクローズアップ



吉田社長の強い信念の元、社員の潜在能力を
引き出し目標達成に導くコーチング活動導入の
様子を熱心に聞き入る会場の参加者たち

現代で、キンビール社長が自
社の保守的社風を改革するため
のコーチング活動を熱く語っ
ている姿が目にとまった。

社員のモチベーションを高め
目標達成に導くコーチング活動
を開始する戦略に出た。社章、
ブランドロゴ、制服を刷新し、本
社移転統合、大規模組織改革を
行うなど変えられるものはすべ
て変えるくらいの勢いで社風改革
を行い現在に至っている。(現在の公
式認定コーチは約100名)

コーチングが自分の持つ知識・
技術を伝えるのに対し、コーチ
ングは相手の持っている能力を引き
出すマネジメント手法。コーチの

促進させている。そんなことを行っ
ていたら、ママさんミーティングが
活性化し、ダイバーシティ活動が
自然に始まった。自発的に始
まったことに驚くとともに、業績
も向上して大変喜んでいる。(談)
講演の最後に、経営理念推進
リーダー事務局の吉村課長が紹
介されました。「女性の活躍ツ
アーズは強くなる！」との女性
活躍法に基づく行動計画に触れ、
「グループミーティングを活用し
てお互いに助け合い、生き生きと
働ける理想の職場を求めてまいり
ます。」と宣言。吉田社長の取り
組みが実を結んでいる。
(勅使河原晃子・エイエマ)

REPORT 特別勉強会

一度は行ってみたい、 あの目黒雅叙園で落語に親しむ

2016年9月30日(金) 参加者23名(会員9名、ビジター14名)

足を踏み入れた途端、目黒雅叙園の素晴らしさに感動。第一印象は「豪華」の一言です。元禄文化風の御殿が持つ絢爛な造り、「昭和の竜宮城」とも呼ばれた内



落語家 喜楽家笑助氏

装が今も館内至る所に見られます。私のイチオシは「トイレ」。言葉では表せない独特な雰囲気です。ちなみに皆さまご存知の「千と千尋の神隠し」で千尋が働くことになる湯屋は目黒雅叙園も参考しているそうです。

創業時からの伝統美を継承する格調高い「牛若」の部屋に今回、嘶家としてお迎えしたのは富士屋ホテル株式会社常務取締役 梶原宏氏(ひろし)氏(芸名:喜楽家笑助)。旅行会社の間ではかなりの有名人です。

着物に着替えた喜楽家笑助氏が登壇。演目は「不動坊」で笑える嘶です。私自身、人生で初めての「生」落語でした。一言で表すなら「楽しかった!」。これ以外に言葉が見つかりません。数十分にもおよぶセリフをすべて叩き込んで、語りだけではなく一人芝居のような、さらには独特な間合いと臨場感。あっという間に落語の世界に引き込まれました。小説は自分で世界を描き、映画は映像でその世界に引き込まれる。落語は嘶家の一人何役をも演じる身振り手振りのみで嘶の世界に引き込まれるのです。

会食の席で梶原常務は「落語は抑揚をつけてはいけなただけだね」と苦笑いされていたが、聞き手としてはその話し方が非常に楽しかった。またいつか「喜楽家笑助」氏にお会いできる日を楽しみにしています(エー! オチがよろしいようで...)。(桑江利恵 沖繩ツーリスト)



梶原常務を囲んでの食事会では落語の裏ばなしに盛り上がる



嘶に引き込まれて、すっかり落語のとりこに!

化する...その2

入学3か月後、夜まで校内で自習する風景が日に日に多くなりま

化する...その1

可能性未知数の入学後の学生の

変貌ぶりを紹介しますと...
入学者増減も増えています。
可能性未知数の入学後の学生の

化する...その3

1年生の後半から就活対策授業が始まります。今年の3月まで高校生だった学生が、リクルートなどで「御社を志望した理由は...」などと言葉遣いも大人っぽくなつていきます。また、夜間部学生は、昼間はJTBグループを中心に企業実習していますが、昼は真剣に社会人もどきで仕事に少しずつなじんでいきます。

金の卵にするべく、毎日原石をピカピカに磨いているのは講師陣ですが、原動力は学生本人。学生の急成長を観察できるのが私の今一番の楽しみです。「可能性は無制限!」ですね。

次回は、東京オペラシティの田中恵理さんにバトナタッチです。

JWTC 勉強会

見学&食事会 ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町

2016年9月3日(土) 参加者会員21名、ビジター1名



2016年7月27日にグランドオープンしたばかりの「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」の見学会が行われました。

集合は36階のロビー。当日は天気もよく、大きなガラス窓の向こうには東京のパノラマが広がり、中央にある暖炉と大きなオブジェもとても印象的。ふんわりと香るオリジナルアロマも心地よく、ますます期待が膨らみます。案内された同フロアのミーティングルームでは、1955年に赤坂プリンスホテルとして30室で始まった歴史から、オープンにあたっての取り組みなど丁寧な説明を受けました。

いざ、館内見学へ。まずはデザイナーズスイートをはじめ3タイプの客室を見学。モダンかつラグジュアリーな空間で、フレームの大きな窓からの眺望はまるで絵画のよう。窓際にあるデイベッドもとても特徴的です。客室内の操作や、レセプションとの連絡はタッチパネル式のルームマネジメントシステムで管理され、最先端のツールに「さすが」の声が上がりました。次に吹き抜けの大きな窓がある「Sky Gallery Lounge Levita」と、重厚感を感じさせる落ち着いた雰囲気のバー「The Bar illumiid」を見学しました。

食事会は、「All-Day Dining OASIS GARDEN」でのランチ。コーナーごとに雰囲気の異なるインテリアはとても興味深く、今回はパーティールームの一角に席をご用意いただきました。お料理はどれも目でも舌でも楽しめ、皆さん大満足。通称「赤プリ」時代を懐かしむ話や当日の見学のことなど話に花が咲き、会員のコミュニケーションを取る場としてもとても良い機会となりました。

見学にあたりご尽力いただきましたザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町の皆さまに心より御礼申し上げます。(桑垣美砂子 二期リゾート)



初代会長の安西さん登場、マーケティング担当の金光氏の丁寧な説明を真剣に聞くJWTC会員ワイン片手に「乾杯!」

RELAY ESSAY リレーエッセイ

ツーリズム産業の 「金の卵」を産む仕事

JTBトラベル&ホテルカレッジ

坂本 友理(会員番号370)



留学生と江の島鎌倉研修旅行にて(前列右から3番目が筆者)



和やかに講師の石川博紳氏を囲んで

2016年8月17日(水) 参加者会員14名 TEPIAニューオータニTOKYO

EUとは条約加盟 28 カ国間で、人、モノ、お金、サービスを自由にしようと協力関係を結んでいる欧州連合の事。英国は EU 加盟国の中で、通貨を認めない(ポンド保持)、サービスを認めないのに(シェンゲン不参加)、EU で経済活動やサービス活動ができていた。その有利と思われる立場を放棄し、なぜ EU 離脱派が勝利したのか、今後はどうなるのか、大変気になるところです。前欧州三井物産(株)社長で、現三井物産(株)顧問の石川博紳氏を講師に迎え、講演いただきました。

旅行者者に直結するケースとして、英国に活動の拠点を持っている会社が、金融、サービス面での変更で、他国へ拠点を動かさざるを得ない事情が想像できます。しかしそれにしても難しい。BREXIT の背景、EU の反応、EU 離脱に向けたスケジュール、国際金融センターの動き、EU、米、日の主要指標の比較などについて説明されました。噛み砕いた話題は国民投票の話になり、なぜ出口調査が実際の結果に直結しないのか。それは英国人気質の二心にありとの事。長い歴史に基づくものとの説明は納得できるものでありました。

また、EU 離脱が実行となるまでには 2 年の猶予があり、EU 指令で動いていた英国が、離脱期限までに法律、金融の面で、国としての形を整えられるのか問題となるであろうとの説明は、興味深いものでありました。

大変硬いテーマでしたが、長く英国に滞在し、英国人気質と日常生活を見てきた JWTC 会員の体験エピソードや、日英気質の比較に笑いと話が弾んだ勉強会となりました。(勅使河原晃子 シイ.エイ.エヌ.)

英国の EU 離脱について英国現地での情報を基にわかりやすく解説していただきました



COMPANY 会員の会社 & 仕事紹介

イタリアン地中海センター ウイングポート株式会社 涌井 久美子



社内のインパクトある人気のポスター

“まだ知られていないイタリアを皆さまにご紹介したい! ぜひ行っていただきたい”との思いでイタリアの南の島シチリア島を主として販売し始めたのは今から 20 年前のこと。

弊社の前身の会社「ウイングツアー」の創立が 1976 年。そこから考えますと今年創立 40 年になりました。成田空港開港に合わせ、1990 年よりイタリア個人旅行を企画販売してきましたが、ローマ、フィレンツェ、ヴェネツィアなど定番コース以外にもっとイタリアをお客さまにご案内したいと考え、その頃まだ日本の方には良く知られていなかったシチリア島を中心に南イタリアへの個人旅行をなんとか作りたいと思ったのが現在のイタリアン地中海センターの始まりです。ただ、その頃はシチリア島と南イタリアはまだ団体旅行のみの受け入れで手配会社が多かったため、個人旅行の手配が可能な現地手配会社を探すのにいろいろと時間がかかりました。個人旅行でもお客様にご負担なく旅を楽しんでいただけるようにと各地域の現地手配会社と直接交渉しながらツアー内容を思考錯誤し現在に至っています。今では 2 名様から催行かつ専用車で巡るコースが主となるまでなんとか扱えるようになってきましたが、まだまだ課題も多いです。

シチリア島と南イタリア以外ではもちろん他のイタリア各地、また地中海沿岸の地域、クロアチア、ギリシャ・エーゲ海、南フランス、マルタ島・スペインなども取り扱っています。お客様に少しでも満足いただけるよう、パッケージツアーでも個別にアレンジ可能な内容にしておりますが、お客様からの多種多様なリクエストにいかに対応できるか奮闘の毎日です。

今年も夏がやって来ました。夏が近くなると、日本人駐在員のお客様からの問い合わせがぐっと増えるディスティネーションがあります。それはアルゼンチンのペリト・モレノ氷河、鏡張りで有名になったボリビアのウユニ塩湖、そしてブラジルの青の洞窟ボニートです。三か所とも、夏の季節に選びたい観光スポットで、ペリト・モレノ氷河と、特にウユニ塩湖は日本でも良く知られ美しい写真を目にしますが、ブラジルのボニートはまだ知名度が低いかと思えます。今回はイタリアではない、ブラジルの青の洞窟とシュノーケルで大人気のボニートを紹介します。

青の洞窟の神秘

ボニートはサンパウロから 1,262km、マツグロツ・ド・スル州のカンポ・グランジという町から、車で約 4 時間の所にあります。美しいという意味のボニートは、名前の通り美しい清流と鍾乳洞が点在する町です。およそ 30 あるアクティビティの中で、ローカルのブラジル人にも一番の人気は青の洞窟見学です。イタリアの青の洞窟と違い、船に乗って見学ではなく、洞窟にある急な階段を下ります。すると青く美しい地底湖が目前に現れます。地底湖にさす日光が、神秘的な青い湖を照らします。肉眼で見ても美しいですが写真では更に鮮明に青い湖を撮影できます。1 年のうち 12 月～ 2 月の午前中、まさに夏のみの絶景です。



階段を下りると、そこには青が美しい地底湖が存在する

天然水族館でシュノーケルを楽しむ醍醐味

青の洞窟と並んで人気スポットは天然水族館です。湧き水を水源とした溪流を、川の流れに身を任せシュノーケルを楽しむアクティビティは、まさにその名の通り天然の水族館。川をのぞくと、エメラルドグリーンの水の中にたくさんの魚が泳いでいる姿が見えます。肉眼でもはっきり見える魚たちと、何と水中と一緒に泳いで川を下るのです。その透明度、自然の美しさは言葉で表せないほどの美しさです。水源の湧き水がぼこぼこ上がる様子まで鮮明に見えます。30センチ以上もある大きな魚と、自分も魚になった感覚で泳ぎながら、太陽にきらきらと照らされた川底に心を奪われること間違いなし。

ボニートにはこの他にもさまざまな川遊び、鍾乳洞見学のアクティビティがあり、聞いた所では 10 日間いても飽きないとのこと。そのほとんどが環境保護のために人数制限があるので、気軽にその場では申し込めません。日焼け止めや虫よけをシャワーで全て洗い流すなど、環境保全が徹底されているからこそ、この美しい自然は守られて行くのですね。



天然の水族館で魚にタッチ! 息子とシュノーケリングを楽しむ

日本の 23 倍あるブラジルには、まだまだ多くの魅力的な場所があります。これからもお楽しみに。

出身を聞かれると出生の地である福岡と答えるが、生まれただけで記憶がない。親の仕事の関係で、あちこちに移り住んだが、41年前に海洋博後の建築ラッシュに沸く沖縄で、内装業の会社を始めた父親の元へ母と姉と一緒に移り住んで以来、沖縄に住んでいる。

沖縄で学校を出て就職し、結婚して二人の娘を育てた。私にとっても嫁いだ娘たちにとってもふるさととは沖縄なのだ。

自宅の近くに、毎年海亀が産卵にやってくる美しい砂浜がある。毎朝、犬を連れて散歩をしていると、運よく今年も、産卵後をなぜか、ゆつくりしていたらしい親亀と遭遇した。長年住んでいても、なかなか見られない光景に感動を覚えた。

この海岸は散歩をしながら、ごみを拾う人々や、海亀を観察しながら保護する人々に守られて、長年、変わらない自然と美しい風景を残している。

幹事として参加するJATA沖縄支部の今年の環境保全活動は、偶然自宅近くのこの海岸になった。小さな海洋生物を観察しながら、私も普段はしていないが、海岸のごみを拾った。

職場からは少し遠いがそんな風景に癒されながら、私は長年、旅行業に携わり、昨年、ついに自分の会社を立ち上げた。多分、この先もここに住み続けるだろう。



JATA沖縄支部の環境保全活動。サングラスをかけた福岡支部長（中央）の向かって左が筆者



砂浜で育った子亀は大海原へ向かう

近年、基地問題ばかりが大きいくろろズアツプされがちな沖縄だが首里城を始め多くの世界遺産を有し、美しい海に囲まれた沖縄は国内屈指の観光地であり、国内外から多くの観光客が訪れる。日本でありながら、独自のアイデンティティを持ち、人情豊かな人が多く、出会えば兄弟（いちやりにちよーでー）という言葉もある。自慢しだせば、とても紙面が足りない。わがふるさと沖縄にぜひ、一度来ていただきたい。一緒に沖縄民謡を聞きながら、ふるさと自慢を語りたいたいと思う。

運営委員会からのお知らせ

JWTC 勉強会

視覚障がい者の言葉の道案内とユニバーサルツーリズムと題し、NPO 法人ことばの道案内理事長 押見敏明氏と、会員の高齢者・障がい者の旅をサポートする会 理事長久保田牧子氏を講師にお招きして勉強会を開催します。

- 日時：2017年2月4日(土)15時～(予定)
- 場所：東京都障害者福祉会館（港区）※詳細は別途ご案内します。

JWTC 第37回総会

第37回総会を下記の通り開催します。

- 日時：2017年3月4日(土)10時開催予定
- 場所：TEPIAニューオータニ東京（北青山）
- ※総会終了後に懇親会を予定しています。
- ※詳細は別途ご案内します。



ホームページを活用しましょう！

JWTC ホームページに「運営委員会だより」のリンクボタンが登場しました。いち早くに「勉強会情報」などの運営委員会情報を知ることができるようになりました。

<http://jp-jwtc.org/>

編集後記

添乗で八丈島に行ってきました。ガイドブックなどで観光地の情報収集をしたときには、これといった見どころや魅力を感じることができずに困ったのが第一印象でした。ところが、いざ上陸してみると、紙面では単調に見えた景色が生きて動き出したのです。

海の刻々変化する輝きや道、森を飾る緑の多彩さ。そして熱帯特有の湿気を含んだ空気が草木の濃いにおい。滞在中の時間を持て余すのではないかと心配したのは杞憂に終わり、参加者全員が日を追うごとに島のとりこになっていきました。

「テレビで見られるから旅行なんて行く必要はない」と、耳にするようになった近頃ですが、やはりその場に立つてはじめて生きた魅力を感じる事ができる。旅って人の感性を豊かにする素敵な経験なのだ改めて感じました。（伊藤聡子）

JOIN US!

入会のご案内

私たち日本旅行業女性の会（JAPAN WOMEN IN TRAVEL CLUB、通称JWTC）は、1980年に発足した旅行関連産業で働く女性の会です。

- ＊会員相互の親睦をはかり、旅行文化の向上に寄与する。
- ＊会員の専門知識、能力を生かし、社会への貢献を図る。

という目的を掲げ、勉強会や親睦会等の活動を続けています。

会員には旅行会社やホテル、ツアーオペレーター、航空・クルーズ、または旅行関連のメディアや保険会社など、ありとあらゆる旅行に関連した企業、団体に所属する女性たちが集い、日々研鑽を積んでいます。会員一人ひとりが業界のプロです。その高い専門知識や経験、技術を、共通の財産として、次代を担う業界女性にバトンタッチしていくことを目標に、「広げよう！人の輪 旅の輪」をキャッチフレーズに掲げ、活動を行っています。

入会資格は、まずは女性であること。そして、旅行関連の会社・団体等に勤務していること、この二つです。皆さんも、ご自身の会社から一歩、外に飛び出て、私たちの仲間に加わりませんか？ 業界を支える女性たちの話を聞くことで、刺激や勇気を得ることができます。

ご興味を持っていただいた方は、ぜひホームページ（<http://www.jp-jwtc.org>）で私たちの活動をご覧ください。お問い合わせや、お申込みは、運営管理部・橋本かおり k-hashimoto@keioplaza.co.jp まで。皆さんのご入会をお待ちしています。

お問い合わせ
お申込み  運営管理部・橋本かおり
k-hashimoto@keioplaza.co.jp

JWTC ニュースレター新春号 vol.37-1

発行日 2017年1月1日
 発行人 山科 ほとり
 発行所 日本旅行業女性の会
 編集・制作 JWTC 広報戦略部
 勅使河原 晃 子
 根本 恵

Editor 本多 美知子
 Designer 森下 羊子

JWTC 事務局 〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-15
 クリヤビル7階
 (株)ピコ内 電話 03-5411-7218
 URL <http://www.jp-jwtc.org/>

